

市議会だより

大月市

令和5年11月30日発行 No.172

さとやま収穫祭（桂川ウエルネスパーク）

CONTENTS

- ・ 令和5年第4回（9月）市議会定例会
（主な議案の内容） P. 2～
- ・ 決算審査特別委員会 P. 4～
- ・ 議決結果等一覧表 P. 6
- ・ 代表質問／一般質問 P. 7～
- ・ 議会からのメッセージ P. 17
- ・ 議会日誌 P. 18

こんな事が決まりました

9月1日～9月27日（27日間）

今定例会の議案



市長提出

- 条例案件・・・7件
- 補正予算案件・・・2件
- 決算認定・・・8件
- 人事案件・・・3件
- その他・・・1件

議会提出

- 請願・・・1件
- 意見書案・・・1件

主な議案の内容

条例

◎大月市地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例制定の件

「エルムーン駒橋」
入居者募集へ

子育て世帯・新婚世帯の居住の安定に配慮した地域優良賃貸住宅を整備することから、設置及び管理に関する条例を制定した。

◎大月市役所出張所設置条例中改正の件

富浜出張所が鳥沢
小学校前に移転

老朽化した富浜公民館・富浜出張所の新築に伴い、J Aクレインとみはま支店隣から鳥沢小学校校門前に移転した。

◎大月市営住宅条例及び大月市特定公共賃貸住宅条例中改正の件

連帯保証人として
保証会社も認める

入居決定者は賃貸借契約書に市長が適当と認める連帯保証人の連署が必要となるが、入居者の責務を連帯して保証する法人である保証会社も認めることとした。

予算（補正）

◎令和5年度大月市一般会計補正予算（第4号）

○ふるさと大月応援寄付金
3億円

当初予算で1億円を見込んだが、4億円を超える見込みとなったため増額補正する。



富浜出張所

常任委員会の様子

●総務産業常任委員会

◎加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

○趣旨は認めるものの、請願文書に山梨県や本市の現状を踏まえた表現が不十分であることから全会一致で趣旨採択とし、委員会で作成した意見書を全会一致で関係省庁に送付することとした。



豊かな森づくり事業について
(産業観光課)

Q 森林組合はどう関わっているか。

A 森林組合には所有者の意向調査や計画をお願いしています。森林組合も施業はされますが、今回は所有者の意向です。

Q 本来は森林組合が施業するべきだ。頼む者の意向とはどういうことか。

A 大月市森林環境税及び森林環境譲与税活用事業補助金交付要綱に基づき実施する事業ですが、所有者も事業をすることが出来ます。たまたま今回の真木地域については、林業会社

が所有者でありましたので、所有者が施業した形になっています。

※意見

もつと事業を活用しなければいけない。その辺を森林組合と調整をとってほしい。事業を知っているところだけが補助金を使っているのは良くない。広く周知できる形をとってほしい。



間伐作業

●社会文教常任委員会

総合体育館のメインアリーナの床面修繕について
(社会教育課)

Q 総合体育館のメインアリーナの床面に関し、危ないというのであれば当初予算でやるべきだ。時期的な納得感がないが。

A 当初予算の段階では少しまだ余裕があるかという認識であったのですが、現場を確認いたしまして、全国的にも体育館のササクレ等で選手、使用者がスライディングしたりした時に重大な事故につながる例があったということも情報が入ったりしましたので、やはりそういう危険なものは早急に対応すべきと判断しての予算計上であります。

Q これは完全に単費ですよ。いろんな事業をしつかりと見つければ補助制度も見つかる可能性もある。それとも何かしらの要望の中で急遽やるようになった状況なのか。

A 特定財源、補助事業は小規模な修繕ですと該当する補助制度が中々ありません。現場を確認する中でこれは早急に対応すべきと判断したということです。



大月市民総合体育館

令和4年度決算を認定！



委員長
山田 政文

付託されました8案件を審査するため、9月21日、22日、25日の都合3日、委員会を開催いたしました。

審査の経過といたしましては、監査委員から決算の概要について、説明を受けた後、課等部署別の審査とし、担当部課長等から説明を受け、慎重に審査を行いました。審査終了後、各決算認定別に採決を行い、「認定第2号 令和4年度大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件」から「認定第5号 令和4年度大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件」まで、及び「認定第7号 令和4年度大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件」、並びに「認定第8号 令和4年度大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件」について、全会一致で原案のとおり認定するものと決しました。

令和4年度決算審査特別委員会 委員長報告

また、「認定第1号 令和4年度大月市一般会計歳入歳出決算認定の件」及び「認定第6号 令和4年度大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件」については、賛成多数で原案のとおり認定するものと決しました。

審査の過程で、各委員から多くの意見が出されましたが、その内、主なものを申し上げますと、まずは、小林市長の所信でも、2期目の4年間で特に取り組まなければならない課題にあげられている、少子化対策と人口減少対策です。小学生以上の支援策は充実してきておりますが、次年度に向けて、おむつの定期配達、第2子以降の保育料無償化、保育園の給食費無償化等、子育て支援策を充実させることで人口増につながった他自治体の事例もありますので、今後の計画においては、研究やしっかりとした議論をし、総合的に取り組むことを要望します。

次に、大月短期大学の今後の維持存続についてです。平成30年度決算審査特別委員会委員長

報告でも要望いたしました。その後のコロナ禍を経て、入学者数が減っている状況や財政状況の見通しも不透明な中、今後に向けての対策について、危機感を持ち、大月短大の魅力をさらに向上させることによって、学生の確保につなげ、地域経済への貢献・推進に努めていただきたい。

次に、企業誘致等についてです。代表質問等にも出ております。

したが、市長自ら、首都圏の企業、金融機関、商工会議所、学校法人他への営業強化に、より一層努力していただきたい。

以上、これらの意見を今後の行政運営に反映させることをお願いし、決算審査特別委員会の報告とさせていただきます。

※ 決算状況の詳細は、広報おつき10月号をご覧ください。

「令和4年度大月市一般会計」及び「令和4年度大月市介護保険特別会計」歳入歳出決算認定の件に対する討論

◆反対討論(要旨)

藤本 実 議員

令和4年度決算で普通会計・特別会計の基金合計は、この3年間で23億9100万円も増えています。しかるべき施策をもって、その一部をきちんと市民に還元すべきです。それをしてこなかったのが、認定できない第一の理由です。企業誘致についても、小林市長は動いてくれませんでした。これが第二の理由です。殻を破って。

◆賛成討論(要旨)

鈴木基方 議員

今後、収入が減っていくことがはっきりしている中、少し貯金ができそうだが、貯金せず使ってしまうという理屈が通るでしょうか、本市の財政状況は良いとは言えず、今ある金があるだけ使えという状況ではありません。子供の数が減っていくのに、親が子供に借金を返させるようなことをすることが健全と言えるでしょうか。

決算審査特別委員会における主な論点 Q & A

庁舎建設について

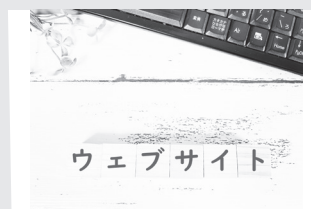
Q 庁舎建設に関して伺う。



A 令和5年度は、候補地を1か所に決定し、その場所にどのような財源でお金を掛けずに庁舎を建設するのかという、基本計画を策定することが目標となっています。本庁舎が建設から60年以上経過する中で、防災の観点から建て替えが必要であり、現在のところ、2,500㎡程度が適正ではないかという建て替え案を示しております。市としては、早急にこの建物の建て替えが必要であり、進めているということでご理解をお願いしたいと思います。

ホームページ更新に関して

Q 広聴広報の充実ということで、ホームページの更新をされるのか。



A ホームページにつきましては市のプロモーション売り込みの一番で、国民の方、日本人の方全員が見られる一番大きなサイトでありますので、その充実については、大月市を売り込むために必須の事業だと思います。全般をやろうとするとかなり費用が出てしまいますので、令和6年度の予算で、特定のサイト、その部分だけ特化したサイト、充実した情報を流すなどの検討を始めます。

財政について

Q 財政について確認したい。

令和4年将来負担比率 (郡内4市比較)	
富士吉田市	—
都留市	—
大月市	85.2%
上野原市	25.4%

(令和4年度決算に基づく健全化判断比率等の状況(速報値)より) 山梨県ホームページ

A これからのことを考えると、物価の高騰、人件費の高騰、庁舎建設、等々考えられるため非常に厳しいと考えています。将来負担比率は県内ではかなり悪いと考えています。

発生件数が多い特殊詐欺について

Q 現状の電話機の貸し出しについて、購入補助も含めて考えていただきたい。



A 令和4年度に関しましては、総数で4台の貸し出しを続けています。引き続き増やしていきたいという体制を取っております。機器の接続に関しては、直接職員が設置にも伺っております。大月市は、貸し出しをしている状況ですので、大月警察署とすり合わせをしながら、今後の対応を検討したいと思っております。

豊かな森づくり基金について

Q 森林環境譲与税を使用して、立木の伐採にどこまで対応できるのか。地目が農地だった場合はどうか。



A 里に近い部分は、地目が農地であることが多く、必ずしも対応できない部分があるという問題がありますが、山林化している農地については、非農地判定という方法で、補助制度を使えるようになります。非農地判定は、農地に当たらないと判定して、農業委員会から所有者へ郵送しております。毎年少しずつ行っているところで、いずれ市全域に出せると考えています。

消防広域化について

Q 消防指令センターを含めた、消防広域化取り組みの現況について伺う。



A 都留市と災害出場の応援を実施しています。消防指令事務(指令センター)は平成27年度から東部3市で共同運用しています。現在、消防の広域化に先立ち、郡内地区で消防指令事務の共同運用(指令センターの一元化)に向けた調査・研究をしています。

令和5年9月定例会

議決結果等一覧表

賛成 ○ 反対 × 退席 — 欠席 / ※奥脇一夫議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原剛	小原文司	山田善一	藤本実	山田政文	相馬力	鈴木基方	棚本晃行	亀井好延	山地渉	鈴木康揮	鈴木竜児	天野 築	結 果
条 例	第 36 号	大月市地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例制定の件														
	第 37 号	大月市印鑑条例中改正の件														
	第 38 号	大月市役所出張所設置条例中改正の件														
	第 39 号	大月市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び大月市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 40 号	大月市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件														
	第 41 号	大月市営住宅条例及び大月市特定公共賃貸住宅条例中改正の件														
	第 42 号	大月市火災予防条例中改正の件														
補 正 予 算	第 43 号	令和5年度 大月市一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 44 号	令和5年度 大月市簡易水道特別会計補正予算（第1号）														
その他	第 45 号	山梨県東部地域行政不服及び情報公開・個人情報保護審査会共同設置規約の変更の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
人 事	第 46 号	大月市恩賜県有財産保護財産区管理会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	第 47 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	第 48 号	人権擁護委員の推薦について意見を求める件														
決 算 認 定	認定第1号	令和4年度 大月市一般会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第2号	令和4年度 大月市大月短期大学特別会計歳入歳出決算認定の件														
	認定第3号	令和4年度 大月市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第4号	令和4年度 大月市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定の件														
	認定第5号	令和4年度 大月市下水道特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
	認定第6号	令和4年度 大月市介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第7号	令和4年度 大月市介護サービス特別会計歳入歳出決算認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	認定第8号	令和4年度 大月市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件														
請 願	第 2 号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
意見書	第 1 号	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

ズバリ！

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

代表質問

(1) 山地 渉 議員 (大月の新しい風) 8 ページ

- ①ゲートウェイシティの確立をどう進めるのか
- ②大月市の歴史文化芸能活動などの保全と活用は

(2) 天野 築 議員 (大月の新しい風) 関連質問 9 ページ

- ①学校跡地の利活用について、具体的な道筋は
- ②現庁舎の耐震性と新庁舎完工までの補修予定は

(3) 亀井好延 氏 (大月の新しい風) 関連質問

- ①観光産業振興施策における具体的施策について
- ②大月市内の歴史文化遺産の情報発信について市の考えを問う
※ 10月5日付けで議員辞職をされたため、答弁内容の掲載はありません。

(4) 山田政文 議員 (大月の新しい風) 関連質問 10 ページ

- ①道の駅設置について問う
- ②旧大月幼稚園の活用について

(5) 鈴木竜児 議員 (大月の新しい風) 関連質問 11 ページ

- ①学校給食費の無償化と新しい子育て支援策は

(6) 山田善一 議員 (自由民主党) 12 ページ

- ①市は他市村との連携事業をどのようにしていくか

(7) 棚本晃行 議員 (山と川の街大月) 13 ページ

- ①通学費の家計負担における認識は
- ②物価高騰対策、子育て支援策として給食費無償化の継続を

一般質問

(8) 藤本 実 議員 (日本共産党 所属) 14 ページ

- ①物価高騰支援金を検討すべきだ
- ②新庁舎建設場所適否の最終的な判断基準は

(9) 鈴木康揮 議員 (公明党 所属) 15 ページ

- ①有害鳥獣対策について
- ②がんによるアピランスケアについて

(10) 鈴木基方 議員 (自由民主党) 16 ページ

- ①猿橋周遊観光について考えるべき
- ②郡内12市町村という広い枠組みでの広域連携を



市議会のページは
コチラから



大月の新しい風

やまじ わたる
山地 渉

Q 大月市の歴史文化芸能活動などの保全と活用は

A 観光資源として活用できるよう、広く周知する

問

大月市にある、小山田信茂公、浅利与一関連、修験道の歴史、笹子追分人形芝居、大月鳶伝統文化保存会、大月桃太郎伝説、縄文遺跡などの歴史文化の保全と活用に関して、市として何か支援策はあるか。また、保全、活用の拠点となる施設のお考えはあるか。

観光資源として活用できるよう、広く周知に努めてまいります。

さらに、観光資源として金銭的な価値を生み出せるようなことにつながる支援の形について、また市内の歴史文化などの保全、活用の拠点となる施設についても、様々な状況を鑑みながら検討していきたいと考えております。

その他の質問

問 市長のトップセールスとしての決意は

問 変革と挑戦の4年間で取り組む政策は

問 新庁舎が将来生む利益は

問 住居表示の変更は可能か

問 窓口申請書類記入で町名省略してよいのか

問 公共施設利便性向上の具体的方法は

問 歴史文化を観光産業に活用するため部課を超えた協力体制は

Q ゲートウェイシティの確立をどう進めるのか

A 二拠点居住から移住定住へとつなげる施策を展開

問

市長は今年の新年挨拶の中で、人流、物流のゲートウェイシティとして、さらに多くの滞在人口を創出していきたいと考えているとお話しされている。ゲートウェイシティの確立をどのように進めるのか。

答 市長

今後は、さらに首都圏に向けたPR活動を実施し、本市を知ってもらい、大月ファンを増やし、何度也大月に訪れていただく関係人口の創出を図り、二拠点居住から移住定住へとつながる施策を展開することで、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

答

産業建設部長

歴史文化の幾つかは、観光ガイドマップやホームページなどに掲載し、観光資源として活用しております。今後も大月市観光協会と連携しながら、市内の歴史文化などが本市の魅力になる



笹子追分人形



大月の新しい風

あまの きずく
天野 築

Q 学校跡地の利活用について、具体的な道筋は

A 学校跡地ごとに分類を行い貸与や売却を進めていく

問

答 総務部長

大月市全体の経済の活性化を図るためには、学校跡地の利活用が必要であり、早急に着手すべき問題であると考えています。

学校跡地は、それぞれの土地や建物の諸条件が異なっており、敷地の中に未登記や借地、寄附された土地、国有道水路が含まれていたりすること、避難所や避難場所に指定されていること、また既に市や地域のために活用もしくは民間

貸与によって賃料を得ている場所など、様々な状況となっており、

これらを基に、令和2年度には、庁内関係各課を集め行われた検討会におきまして、本市の方向性を示す分類をいたしました。分類といたしましては、本市にて活用していくものが、旧強瀬小と旧瀬戸小、旧宮谷小、貸与していただけるものは旧大月西小と旧上和田小、売却を予定するものが旧七保小学校と旧富浜中学校、旧梁川中学校、本市にて活用または貸与するものが、旧笹子小と旧初狩小となっております。

このような中、昨年度、法定外公共物の用途廃止手続が完了しました旧富浜中と、同じく売却する分類といたしました旧梁川中につきましては、早期に事業が進められるよう、売却に向けた不動産鑑定業務を実施したいと考えております。

Q 現庁舎の耐震性と新庁舎完工までの補修予定は

A 本庁舎本館は倒壊または倒壊する危険度が高いが補修は最小限で行う

問

本庁舎の本館においては、耐震性の問題が度々議論に上がっている。

本庁舎の耐震性の現状及び新庁舎完工までの本庁舎の補修予定は。

答 総務管理課長

本庁舎の本館は、昭和34年に建築され、既に建築から64年が経過しており、平成12年に実施した耐震診断では、耐震指標であるI s値は0.17と報告されており、建築物の耐震改修の促進に関する法律で示す評価において、倒壊または倒

壊する危険度が高いという状況にあります。

本庁舎の補修予定につきましては、これまでも外壁の修繕や照明の交換などを実施してきましたが、新庁舎完工までの間、必要な都度、最小限の範囲で適切な補修を行い、使用してまいりたいと考えております。



大月市役所庁舎



大月の新しい風

やまだ まさふみ
山田 政文

Q 道の駅設置について問う

A 2期目の目標として進める

問

道の駅については、ぜひ市長2期目の任期中に完成させる意気込みで取り組んでいただきたい。

答 市長

全体構想を国土交通省に相談しながら策定することが必要となります。その後、事業計画策定、設計等に着手し、完成後、国土交通省に登録していただき、管理運営手法を決定しオープンとなります。これらの課題を検討し2期目の目標として進めていきたい。

次に、設置場所は、近隣の道の駅との関係やコンビ

二エンスストアなどの小売店の状況、そして売場面積の確保という条件が出てまいります。総合的に考えますと、現状では必然的に東側が適していると考えておりますが、様々な条件を加味して検討してまいります。



道の駅

Q 旧大月幼稚園の活用について

A 歴史と文化の拠点としての必要性も感じている

問

旧大月幼稚園は、大月駅から南にまっすぐ行ったところであり、この場所を歴史と文化の拠点として活用することを提案するが市の考えを問う。

答 総務管理課長

立地を生かした歴史と文化の拠点としての必要性も感じております。しかし、旧耐震基準の建築物であることから、建て替えまたは耐震工事が必要となり、多額の費用を投じることとなりますので、今後の財政見通しに照らしながら、慎重に議論を進める必要があると考えております。

次に、現在の管理状況で

ですが、令和3年10月より、火災報知機の管理を警備会社に委託しております。また、職員により定期的な換気や敷地内の除草作業も行っております。なお、遊具等は、消防署の救助訓練を兼ねて撤去を行い、整地を行いました。更地が生まれたことから、暫定的に公用車駐車場や月極駐車場として貸出しております。

再質問

問

駐車場はいくらで貸しているのか。

答 総務管理課長

今現在月額2万7,000円で貸しております。



旧大月幼稚園



大月の新しい風

すずき 鈴木
りゅうじ 竜児

Q 学校給食費の無償化と新しい子育て支援策は

A 令和6年4月より中学3年生の学校給食費を無償化する方向で検討

ようにお考えか。
また、全国他の自治体では、子どもが生まれたらおむつを、小学校入学時にはランドセルを無償で配布するなど、様々な独自の子育て支援を行っている。この大月市でも、その他新しい子育て支援策の検討をしているのか。

答 教育次長

学校の魅力づくりに関しましては、これまで様々な施策を行っております。このような中、学校給食費の無償化につきましては、本市の財政状況を鑑みますと、完全に実施することは困難な状況にあり、児童生徒の学習に直結する施策を優先してまいりたいと考えております。しかしながら、学校給食費の無償化も、少子化対策や子育て支援策の観点からも有効であることは承知しており、既定予算の精査を行うことにより、

段階的ではありますが、令和6年4月より、中学3年生の生徒の学校給食費を無償化する方向で検討を進めておりますので、ご理解をお願いいたします。

次に、その他新しい子育て支援策の検討をしているのかについてであります。国では、こどもまんなか社会の実現に向け、こどもの視点に立つて意見を聞き、こどもにとって一番の利益を考えた取組が始まりました。本市では、こどもたちのために何が最もよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できるように社会を実現するということ「こどもまんなか宣言」の趣旨に共感、賛同し「こどもまんなか応援サポーター」となることを7月10日に宣言したところであります。こどものことを第一に考え、地域総がかりで子育てを推進するコミュニティ・スクールの充実や、こどもたちがいろいろな文化やスポーツを体験できるイベントなど、来年の市制70周

年に合わせた企画を検討しております。

このほか具体的な支援策をお示しできませんが、第8次総合計画では子育て支援を中心に検討しており、今後も国、県の動向を踏まえながら、本市独自の子育て支援につなげてまいりたいと考えております。

問

2期目の小林市政スタートに際し、市長は少子化対策、人口減少対策について対応を急ぐとともに、どちらも課題解決に特効薬はなく、継続的な対応が必要だと、そして変革と

挑戦の4年間にしているくと力強い言葉を述べられた。私も子育て世代への支援は、継続的に対応するべきだと思う。
来年度の学校給食費の無償化についてどの

ランドセル





自由民主党

やまだ よしかず
山田 善一

答 総務部長

についても同一料金で使用する
ことができております。

また、し尿処理の広域化
や自治体DX推進の共同事
務処理などの可能性につい
て検討、協議を始めており
ます。今後も引き続き、近
隣市町村との連携について
どのような事案が共同で実
施できるか検討、協議し推
進していきたいと考えてお
ります。

その他の質問

問 小林市政の4年間
と今後の取り組み
について

問 大月短期大学の運
営と今後について

Q 市は他市村との連携事業
をどのようにしていくか

A どのような事案が共同で
実施できるか検討・協議
し推進していきたい

問

少子高齢化で本市を
含め近隣市町村の人口
は減少する中で、行政
サービスは効率的かつ
効果的に提供する必要
があると思われる。

3市3村の枠組みだ
けには捉われず、無駄
なものは作らない。3
市3村で利用できる施

設があれば共同で活用
し、共同でできる事業
は共同です。他市村
との連携事業をどのよ
うに考えているのか伺
う。

近隣市町村の連携事業に
ついてであります。東部広
域連合は解散いたしました
が、連合解散後も単独運営
より共同運営が有効という
見解及び広域的に事務の共
同処理を行う枠組みが必要
との考えから、東部地域公
平委員会、行政不服及び情
報公開・個人情報保護審査
会、障害支援区分認定審査
会、介護認定審査会につい
ては、共同にて事務を継続
して運営しております。

また、その他の近隣市町
村との連携といたしまして
は、従前から進めている水
道事業やごみ処理事業に加
え、消防事業においては平
成27年度から上野原市と都
留市で消防指令センターを
設置し、共同で運営してお
ります。令和3年3月に上
野原市と公共施設の相互利
用に関する協定を提携し、
温泉施設や市民プールなど
同一の料金で使用できるこ
ととなりました。これ以外
でも、小菅村の温泉施設に



救急車両



山と川の街大月

たなもと 棚本
あきゆき 晃行

Q 通学費の家計負担における認識は

A 通学費が負担となる世帯もいると認識しており支援施策を検討していく

問 大月高校なき今、中学卒業後の通学費の家計負担は大きい。通学費の負担の重さを市はどのように認識しているのか。

答 生徒数は82名で、全体の65%を占めております。高校生においては、市内から富士急行線を利用する通学者が多く、JR中央線に比べると運賃が高く、通学費が負担となっている世帯もいることは認識しております。市内で都留高校へ通学している世帯もあり、同様に通学費が負担になっている

答 教育次長

令和4年度の中学校卒業後に市外の高校へ通っている

る状況もありますので、市外に限らず支援できる施策を検討していきたいと考えております。

通学する学生



Q 物価高騰対策、子育て支援策として給食費無償化の継続を

A 中学3年生を無償化する方向、材料費負担は継続

問 物価高騰対策及び子育て支援策として、令和6年度以降、給食費無償化の対象とならない年代にも、限定的措置として給食費無償化の継続を検討していくべきと考えるが、市の見解は。

答 今後、国から臨時交付金などの補助があった場合は、給食費の無償化の継続を。

答 教育次長

学校給食費の無償化につきましては、令和6年4月より、中学3年生の生徒の学校給食費を無償化する方向で検討しております。令和7年度以降も、本市の財政状況やその他の事業を勘案する中、段階的に進めていけるよう検討いたします。

なお、物価高騰対策としては、近年価格が高騰している給食材料費について、昨年度より保護者に転嫁することなく、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して本市が負担しております。このことは、交付金が終了しても継続していきたいと考えております。

再質問

問 今後、国から臨時交付金などの補助があった場合は、給食費の無償化の継続を。

答 教育次長

今後、国からの臨時交付金などの補助があった場合は、国から示される交付金の目的や推奨事業例を勘案し、庁内要望取りまとめの際には、給食費の無償化についても要望していきたいと考えております。

その他の質問

- | | | | | | |
|-----------------------|----------------------------|--------------|-------------------|--------------------------|---------------------------|
| 問 | 問 | 問 | 問 | 問 | 問 |
| 市民に寄り添う市政実現のための手法と考える | 子ども食堂などの団体への支援や子どもの居場所づくりを | 児童虐待防止対策の強化を | 地域公共交通計画策定への進捗状況は | 道路等の維持管理や修繕予算の拡充など必要な措置を | 避難所の空調設備と電源確保について整備の検討状況は |



ふじもと みのる
藤本 実

日本共産党 所属

Q 物価高騰支援金を検討すべきだ

A 市独自の物価高騰支援金の支出は検討できない

問

物価高が続く中、大月市でも再度、独自の物価高騰対策を検討すべきではないか。6月定例会では、臨時交付金を活用して2学期3学期の学校給食費無償化等の対策を重点的に取ったが、今度は全市民を対象にした対策を検討すべきだ。

答

総務部長

令和4年度決算における基金残高は、議員ご指摘のとおり、両基金で約4億円増となりましたが、公共施設整備基金は基金の性質上、物価高騰対策には活用できず、財政調整基金は9月の補正予算までで5億1、500万円余りを取り崩す予

定となっております。さらに、標準財政規模に対する割合が県内市町村の中でも低い水準となっております。決してまだ潤沢な蓄えとは言えない状況であります。

また、本市の将来負担比率は、令和3年度決算においては県内27市町村で3番目に悪い状況でもあります。物価高騰対策への必要性は認識するものの、次世代への財政負担を今以上に増やさないためにも、現時点での市独自の物価高騰支援金の支出を検討することができない状況であります。物価高騰支援につきましたは、国への要望を続ける中、動向を注視し、補正予算による経済対策へ迅速な対応を行うよう努めてまいります。

Q 新庁舎建設場所適否の最終的な判断基準は

A 総合的な評価により最終的な決定を行う

問

3か所の建設予定地にメリット、デメリットがあるが、決定にはその場所での建設が大月市のより良い将来ビジョンの実現にとって欠かせないという理由づけが必要だ。

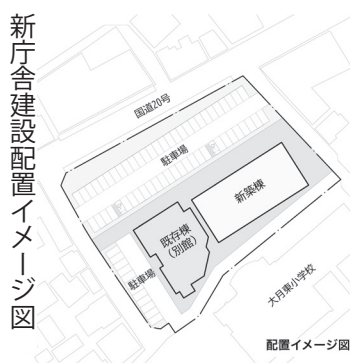
答

市長

今年度進めている建設地の選定は、各候補地について整備の方向性を示したモデルプランを作成し、評価検討を行っております。評価検討における評価項目には、敷地形状や駐車場、交通の便などの市民の利便性や経済性、スケジュールを定量的に評価し、メリット、デメリットや潜在的なリスクを検討した上で、総合的な評価により最終的な決定

を行っております。

また、候補地の決定後には、速やかに具体的な基本計画の検討を進めていく予定であります。建物木質化などを検討するとともに、新庁舎整備基本構想においても市民に愛され、利用しやすく、交流の広がる庁舎や環境に優しい庁舎、まちづくりの拠点となる庁舎を基本方針として掲げておりますので、基本計画の策定においても引き続き検討してまいりたいと考えております。





すずき こうき
鈴木 康揮

公明党 所属

Q 有害鳥獣対策について

A 他市町村での事例を注視していく

問

猟友会の会員の方も減少傾向にある。大型捕獲おりの設置などで優れた効果を上げている事例もある。猟友会の会員の育成と、その対策措置の成果、会員増加のためのPR活動、他の市町村や地域での駆除や被害防止の成功例を把握しているか。

答 産業観光課長

本市におきましては、補助金を交付し、猟友会活動を支援を行っており、比較的若手のハンター十数名が市内の猟友会にて活躍しており、今後の担い手として期待しております。

また、個人農地への支援策といったしましては、農地における鳥獣被害の防除を目的とした大月市鳥獣防除

ネット等購入費補助金交付要綱に基づき補助金を交付しております。今後も他市町村の事例を注視し、猟友会とも協議を行う中で、よりよい対策ができるよう進めてまいります。



鳥獣捕獲わな

Q がんによるアピアランスケアについて

A 山梨県内全市町村で足並みをそろえて検討する

問

山梨県議会6月議会では山梨県知事より、アピアランスケアが必要な方を支援することとし、今後市町村との役割分担も含めて具体

答 子育て健康課長

的に検討してまいりますと答弁があった。アピアランスケアの充実としての医療用ウィッグの本市としての助成制度実施について伺う。

国では、第4期がん対策推進基本計画を令和5年3月28日に閣議決定し、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を全体目標とし、「がん予防、がん医療、さらにがんとの共生を分野別目標としております。現在、山梨県において、県内全市町村で足並みをそろえて実施できるように、医療用ウィッグ等の購入費用に対する助成制度について説明会の開催を予定しておりますので、県内各市町村の動向に合わせて助成制度を検討してまいります。

問

補整具への補助並びに人工乳房への補助について伺う。

答 子育て健康課長

これらにつきましても県及び県内各市町村の動向に合わせて、説明会の中で助成対象とされる場合には、医療用ウィッグと同様に検討してまいります。

その他の質問

問

ごみステーション設置状況と確認について

問

带状疱疹ワクチンの種類と接種と市民への周知について



自由民主党

すずき もとかた
鈴木 基方

Q 猿橋周遊観光について考えるべき

A 関係者とともに検討してまいる

問 猿橋周遊観光について考えるべきだ。

力ある周遊観光が確立できるよう、関係者とともに検討してまいります。

答 産業建設部長

猿橋周遊観光については、観光地としてさらに魅力が高まる可能性を秘めていると感じており、まずは観光協会による大黒屋のリニューアルによって、猿橋の魅力を高め、多くの観光客に訪れていただけるよう、魅

問

富士山観光における受入れ態勢として北麓地域は飽和状態にある。乗り換え地点としての本市を中心とした郡内全般で受け入れていける体制づくりを。郡内12市町村という広い枠組みでの広域連携について、今後展開していく必要がある。

答 市長

今回の観光協会の移転と滞在時間を増やせる宿泊施設の東横イン富士山大月駅の魅力との相乗効果によって、市内観光振興の可能性は高まりますが、富士山観光における富士東部地域の各市町村の連携により、奪い合うのではなく、共存するような形を目指してまいりたいと考えております。広域で共同事務を進めることで、効率的な行財政運営が図られ、互いに利益が受けられる広域連携は重要であり、特に東部地域に加え、富士北麓地域とのつな

がりにおいても、消防事業やごみ処理事業について協議が進められていることから重要度が増していると感じております。

再質問

問

インバウンドをいかに猿橋に導くか、まずは大月駅から名勝猿橋までを一体として考えていく必要があるが。

答 市長

郡内地域を広域的に全体を楽しんでいただく、その出発点として、まずは大月で楽しんでいただく、その中で、大月駅周辺の観光客を名勝猿橋へ導くことについて、大月市観光協会が猿橋の大黒屋に移転することを好機と捉え、大月駅前の観光案内所と連携を図りながら誘導していただく。また、猿橋に来た観光客に市内の観光資源を案内していただくなど、観光客の滞在時間を延ばせるよう協力を

お願いしていきます。

また、大月・猿橋間の移動手段については、既存の電車、バスという交通インフラを最大限利用する形が現実的であると考えております。移動手段の在り方について、富士急山梨バス株式会社と協議し、充実に努めていきたいと考えており、バス以外にもJR、富士山麓電気鉄道、タクシーもありますので、これらの交通事業者とも連携し、よりよい方策についても研究してまいります。最終的には大月駅から名勝猿橋の周遊観光、さらには市内周遊観光など、魅力ある周遊観光を確立すべく、関係者とともに検討を重ねてまいりたいと考えております。



名勝猿橋

議員の信用失墜行為に対する

議会からのメッセージ

この度は、本市議会 後につきましては、議員が飲酒をした上で、これまで以上に議員一人委員会審査等に出席して一人が市民の代表としていた件につきまして、その職責を自覚し、は、大月市議会の品位、市民の皆様から信頼いと信用を失墜させるだけ、ただける議会となるよけでなく、市民の皆様う誠心誠意取り組んでの期待を裏切ることとなりまいます。

なりました。

また、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

大月市議会議長

奥脇 一夫

大月市議会副議長

棚本 晃行

本市議会といたしましては、今回の件を重く受け止めており、今

【概要】

- 9月22日（金）
事務局職員が受け取ったペットボトルからアルコール臭を確認。議長不在のため副議長に報告。
- 9月25日（月）
事務局から、議長、副議長へ再度詳細報告。
- 9月26日（火）
本人に聴き取り。
- 9月27日（水）
正副議長、議会運営委員会委員長、議長経験者による協議。10月4日に臨時の全員協議会開催を決定。
- 10月3日（火）
本人に再度聴き取り。
議員控室での飲酒を認める。別の日にも、酒の持ち込みや、議員控室で飲酒をしたと聴き取り。

- 10月4日（水） 午前
議会運営委員会
事態を重く受け止め「議員辞職勧告」決議案の提出を決定。
臨時全員協議会
「議員辞職勧告」決議案の提出が報告され、全会一致で了承。
- 10月4日（水） 午後
閉会中のため、亀井議員より議長へ「辞職願」が提出され、受理。
- 10月5日（木） 午前
議会運営委員会
「辞職願」提出の経過説明。
「議員辞職勧告」決議は行わないことを決定。
- 10月5日（木） 午後
議長が「辞職願」を許可し議員辞職。

以上

新委員の紹介

・新たに、鈴木康揮議員が、市議会広報委員会の委員に就任しました。

会派構成

◎大月の新しい風

・代表者
山地 涉
・所属議員
山田 政文
鈴木 竜児
天野 築

◎自由民主党

・代表者
山田 善一
・所属議員
萩原 剛
相馬 力
鈴木 基方

◎山と川の街大月

・代表者
奥脇 一夫
・所属議員
小原 文司
棚本 晃行

◎無会派議員

鈴木 康揮
藤本 実

議会日誌

あなたも
本会議を傍聴しませんか

8月（後半）

15日	議員定例懇談会
17日	山梨県高速道路整備促進期成同盟会・山梨県道路整備促進協会総会
24日	令和5年大月都留広域事務組合議会 7月定例会
25日	議会運営委員会

9月

1日	全員協議会
	令和5年第4回市議会定例会 開会
	決算審査特別委員会
14日	代表質問・一般質問
19日	総務産業常任委員会
20日	社会文教常任委員会
	市議会広報委員会
21日	決算審査特別委員会
22日	決算審査特別委員会
25日	決算審査特別委員会
27日	議会運営委員会
	全員協議会
	令和5年第4回市議会定例会 閉会

10月

4日	臨時全員協議会
	議会運営委員会
5日	議会運営委員会
11日	市議会広報委員会
12日	甲州市議会行政視察来庁
17日	議員定例懇談会
19日	山梨県市議会議長会第270回定期総会
30日	令和5年第2回山梨県後期高齢者医療広域連合議会

11月（前半）

1日	市議会広報委員会
13日	令和5年大月都留広域事務組合議会 11月定例会

市議会広報委員会からのお知らせ

市議会広報委員会では、市民の皆様に親しまれ、愛される紙面づくりに努めておりますが、さらに見やすく、読みやすい紙面づくりのために、市民の皆様の貴重なご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

議会の傍聴は、傍聴券に住所・氏名などを記入するだけで出来ます。

詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

※感染拡大の状況により自粛をお願いする場合があります。

12月定例会の日程（予定）

●開会日	11月29日
●代表質問	12月13日
●一般質問	
●一般質問（予備日）	12月14日
●閉会日	12月20日

※ 詳細は議会事務局にお問い合わせください。

編集後記

正副議長からメッセージが語られた後ですので、繰り返すことは致しませんが、議員一同、議会の信頼回復に努めてまいります。

今号に掲載している9月定例会から、新たな第18期のメンバーで内容をお伝えすることとなります。今まで取り組み続けてきたこと、また、新たに取り組んでいくべきこと、議会で審議すべき内容は多岐にわたりますが、分かりやすい誌面の市議会だよりを目指してまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。（担当：鈴木基方）

Editorial note

発行 大月市議会
編集 市議会広報委員会

大月市議会事務局
〒401-8601 山梨県大月市大月2丁目6番20号
TEL.0554-23-1057 FAX.0554-23-0321
E-mail gikai-19206@city.otsuki.lg.jp



市議会
広報委員会

委員長	藤本 実
副委員長	鈴木 基方
委員	山田 善一
委員	山地 渉
委員	鈴木 康揮
委員	天野 築



この市議会だよりは、環境保護のため、再生紙・植物性インキを使用しています。